

患者さんへ

臨床研究に関する情報

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、病理診断後、当院に保管されている検体を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] リンパ形質細胞性リンパ腫の骨髄病変における MYD88 変異と組織像の検討

[研究代表者名・所属] 市立札幌病院 病理診断科 辻 隆裕

[研究の背景と目的] リンパ形質細胞性リンパ腫（LPL）は主に骨髄にみられる B 細胞性リンパ腫です。LPL に特異的な免疫組織化学的マーカーは知られておらず、病理診断が難しいリンパ腫の一つです。近年、LPL の 90% に MYD88 という遺伝子に変異がみられることが報告され（N Engl J Med. 2012 PMID: 22931316）、LPL の診断に有用なマーカーとして注目されています。本研究では、MYD88 の変異と組織像を検討し、LPL の臨床像・病理像をより明確にすることを目的にしています。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

当院でリンパ形質細胞性リンパ腫と診断された患者さんやリンパ細胞性リンパ腫が疑われた患者さんで、2009年1月1日から2019年10月20日の間に、骨髄生検またはリンパ節生検が行われた方

○利用する検体・カルテ情報

検体：骨髄生検またはリンパ節生検の組織（ホルマリン固定し、その後パラフィン（いわゆるロウ）に埋めた組織）の一部。タンパク質、MYD88 遺伝子の変異の有無等を調べ、診療情報と合わせてリンパ腫の特徴や性質を検討します。

カルテ情報：

- ① 生年月日、診断時年齢、性別
- ② リンパ腫の診断について
 - ・ 病理診断名、発症日、診断日、病変部位
 - ・ 病理組織像、免疫染色結果
 - ・ 染色体異常、表面マーカー、FISH、遺伝子再構成
 - ・ 治療内容と治療効果
 - ・ 最終転帰と転帰確認日（亡くなられた方では亡くなられた日）

[研究実施期間]

実施許可日～2021年3月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

*上記の研究に検体・情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[当院の連絡窓口]

〒060-8604 札幌市中央区北11条西13丁目1-1
市立札幌病院 病理診断科 辻 隆裕
電話：011-726-2211 FAX：011-726-9541